

TEGOネットだより浜田

「てご」とは、方言で「手伝う（支援する）」という意味です。

平成20年8月8日 第15号
浜田市農林業支援センター

はじめに

【夏ばてに注意！】 猛暑が続きますが体調はいかがでしょう。暑いと食欲が低下しがちです。でも冷たい飲み物を摂りすぎると胃液が薄まり消化機能が低下します。夏ばて防止に効果的な食事の摂り方はタンパク質・ビタミン・ミネラルをバランスよく摂るということです。また、胃腸を刺激する辛いものや香辛料を摂ることにより、食欲増進や疲労回復も望めます。体調管理に十分配慮し、この夏を乗り切りましょう。
(浜田市農林業支援センター長 齋藤 實)

1. 各支援チームの活動について

■ 集落営農組織支援チーム (担当：塚本・森井)

担い手先進地視察研修会 参加者募集！！

11月13日(木)～14日(金)、三重県で「第11回全国農業担い手サミット in みえ」が開催されます。支援センターでは、この担い手サミットへの参加に合わせて、担い手アクションサポート事業(国庫補助事業)を活用した先進地視察研修会を計画しました。視察先は「農事組合法人 伊賀の里モクモク手づくりファーム」です。

行程〔2泊3日〕

- 11月12日(水)…「伊賀の里モクモク手づくりファーム」を視察
- 11月13日(木)…「全国農業担い手サミット」に参加
- 11月14日(金)… 帰路(移動のみ)

支援センターで貸切バスを用意しますので交通費は不要ですが、担い手サミットの参加費、宿泊費、食費などは自己負担(合計3万円程度)となります。詳細はお問い合わせください。なお、参加申込の締切は8月19日(火)です。皆さんの参加をお待ちしています！



● 認定農業者支援チーム (担当：前原・松井)



▲「GAP」による安全で継続的な農業を目指しましょう！

「浜田地方農業士会」は7月17日(木)の総会終了後、「GAP」をテーマとした研修会を開催されました。「GAP」とは Good Agricultural Practice (農業生産工程管理)の略語で、農産物を生産・出荷する時に農家が守るべきルールや予測されるリスクをリストにまとめ、実践したことを記録してより安全な食品を供給しようとする手法を意味します。欧米諸国では導入が進んでおり、農業関係者にとってはこれから何度も耳にすることになる重要なキーワードだと思われま。

また、農業士会は8月23日(土)に産地視察会を開催されます。浜田市と江津市の学校給食などの実務担当者へ地元の農産物とその生産現場を紹介し、地産地消の推進に向けて意見交換をされる予定です。

★ 新規就農支援チーム (担当：河内・佐々本)

今回は、販売単価について掘り下げたいと思います。収量×販売単価＝売上額であることは以前説明したとおりです。就農相談において目標販売単価を設定しますが、実際には販売先ごとに単価が異なる場合が多いのが実情です。なぜなら、出荷量と単価の交渉は個別に行いますし、相手の求める品質や荷姿に合わせる手間賃も違って来るからです。さらに果樹などでは加工仕向けも発生します。

したがって実績ベースの販売単価は、販売先別の単価と出荷量で加重平均したものとなります。つまり高単価で販売できる販路、いくぶん安価でも大量に購入してくれる販路、加工仕向けの販路など、複数の相手先ごとに出荷量×交渉単価を積算し、その合計を全体出荷量で除算するのです。販路開拓は経営戦略上、非常に重要な取組です。下の参考例では、平均販売単価はいくらになるか計算してみましょう。

販売先 A(単価 400 円/kg 出荷量 2,000kg)	販売先 B(単価 300 円/kg 出荷量 5,000kg)
販売先 C(単価 250 円/kg 出荷量 2,000kg)	販売先 D(単価 100 円/kg 出荷量 1,000kg)

〔答えは裏面〕

2. 東平原上営農組合「オーナー柿園」開園式について

7月20日(土)、三隅町の東平原上営農組合が運営する「オーナー柿園」の開園式が開催されました。このオーナー制度は平成15年から始まり、今年は地元三隅町をはじめ益田市、江津市や邑南町などから28名が登録されました。

オーナーの皆さんは、抽選で自分の樹を決めた後、西部農林振興センターの農業普及員から指導を受けて摘果(幼果を間引く作業)を体験されました。「まだ青いとは言え、せっかくできた実を切り落とすのはもったいない」という方もいましたが、甘くて大きな果実を作るためには必要な作業です。

次回は、10月下旬から始まる収穫作業とドライアイスでの渋抜き作業を体験され、**収穫した果実は全て持ち帰ることができる**そうです。美味しい西条柿がたくさん採れるといいですね。



▲当日はオーナーやご家族など、約40名が参加されました。

3. ご当地アイスクリームの店について



▲暗い中でも目立つカラフルな店構え

8月2日(土)に浜田漁港で開催された「浜っ子夏まつり」の会場に、**ご当地アイスクリームの屋台**が一夜限りでオープンしました。

これは、認定農業者である(有)KKNと阿郷建設(有)が共同で出店したもので、金城町のピオーネとイチゴ、弥栄町のブルーベリーを原料としたアイスクリームやシャーベットなどが販売されました。来場者は地元素材を使った珍しい商品に興味津々で、味の評価も上々。**合計700食以上を売り上げる大繁盛**でした。

支援センターでは今年度、国の補助事業である「担い手アクションサポート事業」を活用し、両社をはじめとする認定農業者とともに果樹や野菜の加工品開発に取り組みますが、今回の成功は関係者にとって大きな自信となりました。

4. 遊休農機具の情報をお寄せください!

他人に譲っても良い農機具など(使用可能なもの)をお持ちの方は、支援センターまでお知らせください。この「TEGO ネットだより」の誌面を使って、購入希望者を募集したいと思います。

様々な事情で不用になった農機具などを有効に利用することは、売り手と買い手の双方にとってメリットがあるのではないのでしょうか。ぜひご協力ください。

5. 今後の行事予定

- 8月16日(土) 午前9時～ 有機農業実践セミナー(第5回) 会場：弥栄会館
- 8月19日(火) 午後1時30分～ 第1回集落営農組織化塾 会場：いわみーる401会議室(野原町)
- 11月12日(水)～14日(金) 集落営農先進地視察研修会(第11回全国農業担い手サミットinみえ)

■■ 編集後記 ■■

皆さんはトウモロコシを食べる時、どのように調理していますか。茹でる、蒸す、焼くなど、好みは人それぞれだと思いますが、支援センターのおすすめは電子レンジです。皮を剥いたら包丁で切ってお皿に盛り、塩を振りラップをして2～3分チンするだけ。とても手軽ですし、栄養分が逃げないとか…。そして一番大事なのは新鮮なもぎたてを食べることだそうです。支援センターに勤務していると、こんな知識がどんどん増えていきます。



- 当情報誌は新規就農者、認定農業者、集落営農組織と関係機関の皆様へ配信しています。
- ご意見、掲載要望、または配信停止をご希望される場合は下記までご連絡ください。

■ 発刊元 浜田市農林業支援センター TEL: 22-3500 FAX: 22-3477
E-mail: n-shien@city.hamada.shimane.jp

オモ子の計算の
答え: 290円